

2007 年度 小委員会活動成果報告

(2008 年 1 月 7 日作成)

| | | | |
|------------------------------|---|---|-------------------------------|
| 小委員会名 | 地盤震動小委員会 | | 主 査 名：加藤研一 就任年月：2007 年 4 月 |
| 所属本委員会 (所属運営委員会) | 構造委員会 振動運営委員会 | | 委員長名：和田 章 主 査 名：三浦賢治 |
| 設 置 期 間 | 2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月 | | |
| 設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き) | <ul style="list-style-type: none"> ・地盤震動に関する研究上の諸問題、研究状況、動向を把握 ・毎年シンポジウムおよび地域交流会を開催し、地盤震動研究の方向付けを行う ・これまでの委員会活動の総まとめとして、「地盤震動研究を生かした設計用入力地震動作成指針」の刊行を目標とする | | |
| 委員構成 (委員名(所属)) | 委員公募の有無：無 | | |
| | 主査：加藤研一(鹿島) 幹事：山中浩明(東工大)・野畑有秀(大林組) 委員：岩田知孝(京大), 釜江克宏(京大), 川瀬 博(九州大学), 鎌田泰子(神戸大), 小山 信(建研), 高井伸雄(北海道大), 青井 真(防災科研), 大野 晋(東北大), 神野達夫(広島大), 飛田 潤(名大), 境 有紀(筑波大) | | |
| 設置 WG (WG 名：目的) | シンポジウム企画 WG：地盤震動シンポジウムの企画・立案 地震動作成指針刊行 WG：設計用入力地震動作成指針の企画・調整・編集 | | |
| 2007 年度予算 | 545,000 円 | ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.ajj.or.jp/kouzou/s4/index.htm | |

| 項 目 | 自己評価 |
|------------------------------------|---|
| 委員会開催数 | 5 回 (年度内計画を含む) |
| 刊行物 (シンポジウム資料等は 除く) | |
| 講習会 | |
| 催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等) | 1. 第 35 回地盤震動シンポジウム「頻発する内陸地殻内地震の地震動とその解釈 —新・入力地震動作成手法の使い方と検証(その 1) -」 参加者数 172 名 『同名資料』 2. 第 27 回地盤震動地域交流会 (2007) 参加者数 73 名 3. シンポジウム「建築振動工学の発展と耐震設計」 参加者数 109 名 『同名資料』(振動運営委員会全小委員会で共催) |
| 大会研究集会 | |
| 対外的意見表明・パ ブリックコメント等 | |
| 目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係) | 1. 例年どおりシンポジウムと地域交流会を開催し、いずれも盛況であった 2. 設計用入力地震動作成指針の執筆を精力的に進め、ほぼ脱稿まで到達した 3. 新たな中長期テーマ「頻発する被害地震の地震動特性の解釈と入力地震動作 成手法への反映」を設定し、新テーマに向けた活動を開始した |
| 委員会活動の問題点 ・課題 | 1. 開催したシンポジウムや地域交流会への関心は高く、特に問題点はない 2. 近年、被害地震が多発しており、新たな現象の解釈を進める必要がある 3. 指針の完成は間近であるが、可能な限り早めに上梓することが望まれる |